

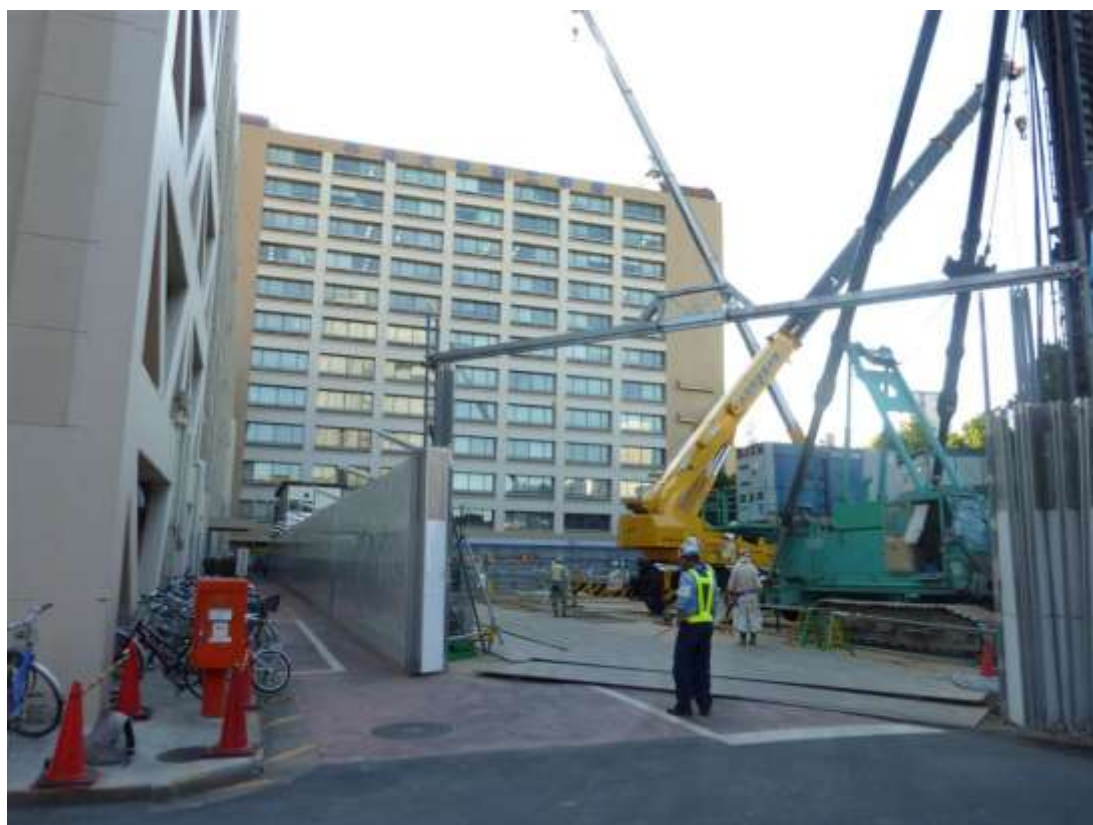
# 中央大学

理工学部

白門化学クラブ

会報 No.2

(2010年8月19日)



後樂園キャンパス再整備計画

新2号館を建設 地上9階、地下1階

(2010年8月3日撮影)

## ささやかな歴史散歩

### 元水道橋校舎を訪ねる



東京都立工芸高等学校前の  
住居表示案内板です。



工芸高校と宝生能楽堂の間の急  
坂を上ります。



坂を上った正面が元工学部水道橋  
校舎跡です。現在、隣接の昭和第  
一高等学校の新校舎となっていま  
す。左側は桜蔭中学校・高等学校  
です。

中央大学学会白門化学クラブ支部  
第31回総会・講演会並びに懇親会  
開催のお知らせ

残暑厳しき折から、会員の皆様には、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。  
さて、今年も後楽園キャンパスにおいて支部総会を下記の通り開催いたします。  
今回も講演会と総会終了後の懇親会を計画しております。ご家族や会員でない方もお誘い  
の上、多くの方々にご参加いただけますよう、ご案内申し上げます。

記

1. 日時：平成22年9月25日（土）13時30分～18時30分（予定）
2. 場所：後楽園キャンパス
  - ① 講演会：13時30分～15時
    - ・教室 6号館3階 6325号室
    - ・テーマ：特許制度から知的財産の世界へー「知財職人」としての50年ー
    - ・講師：弁理士 八田幹雄（八田国際特許業務法人 所長）
    - ・講師プロフィール  
学歴 昭和34年（1959年）中央大学工学部工業化学科卒業  
昭和45年（1970年）中央大学法学部卒業  
昭和49年（1974年）中央大学理工学部精密機械工学科卒業  
職歴 日本触媒化学工業株式会社（現 株式会社日本触媒）（1959年～1969年）  
米原特許事務所（1969年～1976年）  
1976年 八田国際特許業務法人設立 現在に至る  
AIPPI、APAA、FICPI会員、特定侵害訴訟代理付記登録  
元アジア弁理士協会副会長、元東京地裁民事調停委員
  - ② 総会：15時15分～15時45分
  - ③ 懇親会：16時～18時30分 5号館地下1階 学生食度
3. 会費：会員並びに卒業生 7,000円  
ご家族（中学生以下無料）3,000円  
会費は、当日申し受けます。
4. その他
  - ① 受付は、6号館3階 6325号室入り口で行います。
  - ② 講演会のみ参加はご遠慮下さい。
  - ③ 懇親会での飲み物等ご寄贈を歓迎します。
  - ④ 同封した「出欠はがき」は9月4日までに必着でご返信願います。
  - ⑤ 連絡先：白門化学クラブ支部長 堀中 新一 TEL 090-3531-5680

以上

## 近況報告

### S28年 中田常雄

今年の夏はとにかく暑く、会員の皆様お元気でおられますか。自分のことで恐縮ですが、去る7月8日で満84歳となりました。

最近うれしいニュースを申し上げますと、「今年の支部長会議において、久野学会会長が「報告」の中で、5つの印象に残った支部の第一番目に白門化学クラブを挙げられました。」と聞き大変嬉しくなりました。大学も今年125周年を迎えます。大学の運営も、ますます難しくなります。同じ大学を出た同志として、益々結束をかためて発展させて下さい。何より私からのお願いです。では皆さんお元気で。(所沢市)

### S28年 牧 吉雄

一九三〇年生まれの私は、後期高齢者のレッテルの上に、チョウの文字がつく八十となりました。

生かされている命。社会の老害にならない様に、せめて健康であることが、老人医療費の抑制にもつながり、或る意味で、多少の役にたっているのかなァ・・・などと勝手なことを言いながら毎日を過ごしています。過ぎし日、信濃路を旅した時、道路傍の小さな祠の境内に建てられた「文夫」なる人の石碑の句が印象に残った。

世の中に 今日より他は なかりけり

昨日は過ぎつ 明日は来らず 文夫

支部の皆様の益々のご活躍を念じます。(板橋区)

### S34年 秋山 堯

東京家政大学教授を四年前に定年退職した後、継続して農林水産省系の公益法人(財)日本肥料検定協会の理事を拝命し、さらに、(社)日本リン資源リサイクル協議会の研究業務に携わっています。最近、「リン資源の回収と有効利用」(大竹久夫監修、サイエンス&テクノロジー社)の出版に貢献することができました。

健康第一を心がけ、運動不足に陥らないように八十坪ほどの畑でナス、キュウリ、トマト、枝豆、ネギ、ジャガイモ、サトイモ、サツマイモ等の野菜づくりに精を出しています。他方、居住地(茨城県取手市)の環境審議会の委員として動きまわっています。

(取手市)

### S34年 栗原 功

先ずは、健康の話から：今まで「病のくすり」には厄介にならず、またメタボの心配も無く「健康」が私の唯一の自慢でしたが、最近 体にガタが来ました。“膝痛で歩行困難、血便で大腸の内視鏡検査、突然の激しいめまい・嘔吐で夜間救急センターに行き点滴・CTスキャン検査、更に耳の精密検査・MRI検査等”を体験しましたが、現在は回復し快調です。

次に日常生活では：現在 孫3人と同居し遊び相手が日課で、合間に庭木の手入れや食

料品の買い物に平塚市内を自転車で走り回っています。 又、暇を見つけては出歩くことにしており、今年は ” 奈良・吉野に桜見物、琵琶湖に浮かぶ竹生島・彦根散策、石垣島・西表島・竹富島への旅行、榛名湖への温泉旅行、余部鉄橋の写真撮り等に行き、また乗り物好きな5歳の孫を連れて、乗り物の博物館巡りや近郊の電車・バスのぶらり旅“を楽しんでいます。(平塚市)

#### **S 34 年 八田 幹雄**

不況に最も強いとか、不況の場合にこそ特許(知財)を有効に活用して企業の戦略とするので不況知らずの業界であるかのごとき話は一昔前の状況であって、この一年間の企業の落ち込みは異常でさえあります。このため、特許出願も昨年度は約20%ダウンしているのが現状です。

一方、中国、韓国、その他の近隣諸国からの追い上げは激しく、日本の経済の将来は憂慮せざるを得ません。このような状態を打破するためには、さらなる技術開発ならびにそれを支える特許政策が必須と思い、一介の弁理士としては、その仕事に邁進している今日この頃です。

最近の特許法によれば、特許の取得条件が非常に厳しくなり、日本は世界でも最も厳しいのではないかと思います。これに対応すべく、大企業から小企業までの企業に対し、知財活用のために、小生は一介の弁理士として、粉骨砕身努力しています。(横浜市)

#### **S 35 年 渡辺 邦夫**

大学を卒業してから50年、間もなく同期の諸氏よりひと足お先に後期高齢者の仲間入りをする。国から貴方は高齢者ですよ、それも後(末)期のという称号(?)を頂戴するわけだが自分にはちっともそんな感じはしていない。

退職後7年余り母の介護を経験し、現在は少しばかりのボランティア活動と、介護の拘束から自由になったことで趣味三昧の生活をありがたい事に送らせてもらっている。写真撮影はネイチャーとスナップ、特に尾瀬の風光に魅せられた私は毎年のように訪れつい先日もニッコウキスゲや朝霧の浮かぶ湿原などを撮影して戻ったところである。スナップは浅草や谷中の下町情緒が好きでよく足を運ぶ。

学生時代はニールス・ボーアとかシュレーディンガーとかの名前を聞いただけで思考が停止した私だが、暇つぶしに図書館通いをするうちに何故か量子の世界に興味を持つようになった。分かりやすい優れた何冊かの本に接していると未だ理解するには程遠いものの、始め無機質に感じていたこの量子の世界が人間の意識や宇宙全体にもつながりを持っていることをおぼろげながら知るようになり、ぼちぼち読み進めているところである。こんなことから年をとることも悪くはないなと感じ始めている今日この頃である。(渋谷区)

#### **S 35 年 金川 護**

白門技術士会の近況：

白門技術士会は今年で創立6年になります。創立以来、私が会長を務めてきましたが、

会員も 200 名近くなり、大学と協力する接点が増えてきました。理工学部 1 年生を対象とした「科学技術と倫理」の講義に毎年 2 名の講師を派遣してきましたが、2011 年からは、都市環境学科（旧土木工学科）で「技術者倫理」の講義が始まり、その講義に 13 名の講師を派遣する事になりました。また、[CO<sub>2</sub>環境対策技術研究会]（会長は東京家政大学教授村上和雄先生）も工場見学と講演をセットとした研究会を 7 回開催しました。研究会も有意義ですが、幹事会は 2 ヶ月に 1 回開かれ、幹事が交代で CO<sub>2</sub> 対策や新エネルギー等のプレゼンをし、楽しく、勉強になります。

現在、都市環境学科國生教授に協力して、C 財団から補助金を頂いて、太平洋の真ん中にソーラーパネルを乗せた筏を置き、原子力発電所級の発電プロジェクトのフィージビリティスタディを計画しております。上手くすれば来年から研究を始めます。その外、精密機械工学科中村准教授のロボットの実用化のお手伝い等、白門技術士会もやっと大学と一緒に何かやれそうになってきました。今後、理工学部発展の一助になることを願っています。（横浜市）

#### **S 35 年 江本房利**

とりたてて報告する事もなく、病気をしないよう平穩に暮らしております。 3～4 年前頃から耳を悪くして、大勢の人が集まる場所では会話が聞き取れず、人の中に出るのを控えております。後期高齢者の仲間入りをしています。皆様のご健勝をお祈りしております。（岩槻市）

#### **S 38 年 齋藤好雄**

学員会定時協議会・総会が 5 月 15 日に駿河台記念館で開かれました。審議の中での特記すべきことを報告します。

- 1) 学員会役員の変更が行われ、学員会会長に久野修慈氏が、副会長には白門化学クラブと縁のある辻本京朔・中西美子の両氏も再任されました。
- 2) 中央大学創立 125 周年記念式典が、本年 11 月 13 日（土）に開催されることが決まりました。それに伴い本年のホームカミングデーは見送られ、またホームカミングデーという名称の変更を検討しているとの報告がありました。
- 3) 協議員会に先立って、蓮池 薫氏による「生きる希望—半生を振り返って—」と題して講演会が行われました。1957 年新潟県での誕生から、中央大学法学部入学、拉致、日本への帰還、家族との再会、中大復学・卒業を経て大学教員・翻訳家になるまでの半生を、拉致を中心として語られました。講演の結びとして「残りの半生で、失った夢と絆を取り戻したい」という言葉に感銘を受けました。（東久留米市）

#### **S 38 年 佐藤義明**

古希を過ぎ、ほとんどの同期の連中は、リタイアし、気楽な毎日を送っているようです。学生時代の気が置けない連中と 2 ヶ月に 1 回ほど会合し、一杯やりながら昔話に花を咲かしたり、近況報告したりです。年を取ると、皆さん物にこだわるが多くなり、感心したり、呆れたり、それでも楽しい会合です。

私は、プラントや機械、試作品、などの模型を作る会社(日本エンジニアリングモデル(株))を立ち上げ、今年で45年になります。宇宙、原子力、海洋、エネルギー関係など多くの新機種の開発の発表や、紹介に弊社の模型が登場しますので、それなりのやりがいを感じております。又、こう言う仕事をしていると、時代の最先端技術と接することも多く、年甲斐も無く、わくわくし、不思議を解明するのを楽しんだりしております。最近では、ご存知の「はやぶさ」です。打ち上げ前に、実物大の模型や縮尺した模型を何機か作りました。今回これが大変話題になり、模型も大忙しのようです。目下、回収したカプセルに関しても、色々な関係で、係わり合っております。この他にも、「ITER」,「次世代ジェットエンジン」,「陽子加速器」など、理解できないものの、好奇心をくすぐる仕事が多く、古い頭に鞭を打っている毎日です。(練馬区)

#### S38年 堀中新一

技術者OBの社会貢献の一つとして、2005年から始まった化学工学会 SCE-Net の社会人教育講座 (<http://www.sce-net.jp/syakaijin/syakaijin.html>) の事務局を担当しています。講師の一員としても参加しています。これまでの人生でお世話になった方々へのささやかな恩返しのつもりです。昨年度より、同窓の川田博美さん(第10回昭和37年卒)、鬼山和彦さん(第17回昭和44年卒)も講師として参加しています。年に2こまの講義ですが、講義資料のアップデートなど、脳の老化防止に役立っています。資料調査には、母校理工学部図書館を利用させてもらっています。また、今年の講義会場は、3年ぶりにお茶の水女子大学の教室となります。とかく年寄り同士の付き合いが多くなりがちな昨今、若い人の集う場所に足を踏み入れることが出来るのはうれしいことです。(蓮田市)

#### S39年 杉本剛一

65歳(1999年)、通教(中大法学部)を卒業しました。直後から、社会貢献を模索しているうちに、ISOマネジメントシステム(MS)審査員評価登録制度を知りました。

品質(Q)、環境(E)の両MSの審査員資格を取得して、早速、都内審査機関に採用打診したところ、60歳の年齢制限で応募不可でした。当時・職安で、ISO認証取得支援のための、構築コンサルタントの求人をしていた現在の会社(アークテック株)と11年になります。

QMS, EMSの構築コンサルタントとMSを守る内部監査(トップマネジメントの代理監査)のための、監査員養成セミナーの出張講師が仕事です。常設セミナー講師も3年前より、前任者の腰痛による辞退で回ってきています。準備で徹夜も…、健康第一を心がけています。今後とも宜しくお願いします。(宇都宮市)

#### S40年 近藤明義

千葉市に住んで34年、半生を過ごすことになりました。60過ぎてからは千葉都民から市民になるように、

- ①ボランティアとして千葉市科学館で子供たちと科学の不思議を改めて学んでいます。
- ②ジジババ合唱団の世話役を押し付けられ、年数回の演奏活動の準備などで忙しい思いをさせられております。

二人の孫から頼りにされるのも後しばらく、おまけの人生を元気に楽しく過ごせるように地域での仲間作り励んで居ります。(千葉市)

#### S40年 渡辺克洋

「東京の灯が恋しくなって直に舞い戻ってくるだろう」という友の言葉に送られて、当地小淵沢に移り住んで早や6年半。たまに所用で上京するが、都心の暑さとあらゆる方向からの人の流れに閉口して急ぎ戻ってくる田舎の高齢者となっている。

東京育ちは生活した地への思いを容易く断ち切れるのであろうか、いまでは東京に戻り住む気持ちは皆無である。冬は厳しいが夏は涼しく、自然に恵まれた八ヶ岳南麓での生活は自然観察の毎日。温暖化の影響は、もの言わぬ草木にも着実に影響を及ぼし、標高が1000メートルを超える当地でも低地の植物や外来種の進出が目立っている。

野鳥の営巣・子育て、短い寿命の中で奔走している親鳥、その見返りを求めない純粋な愛情。人間社会を省みたとき、改めて自然から学ぶものの大きさを痛感している。  
(山梨県北杜市小淵沢町)

#### S43年 林 正道

会社を完全リタイアして丸3年が経ち、毎日晴耕雨読プラス孫の相手をしています。「おじいちゃん トランプやろう、神経衰弱」 私 67 歳、孫 5 歳 記憶力で孫に負けま

す。  
梅雨明け後連日猛暑が続いていますが、先日午後 3 時 30 分ごろ幼稚園に孫を迎えに車に乗り込んだら外気温が42度Cと表示されしばらくハンドルが熱くて握れませんでした。

農作業は比較的涼しい時間帯の朝夕 2 時間 (5~7 時) づつ 200 坪の畑を梅雨の間は伸びた雑草取り、ネギ (8 畝) の土寄せ、サツマイモ (12 畝) の蔓返しをして5日でなんとかきれいになりました。 5月19日に種まきしたカボチャ「ほっこりえびす」を7月23日に初収穫。 ベータカロチンが多く含まれ、甘くてほくほくして美味しかったです。

以上、平々凡々の毎日です。(春日部市)

#### S43年 峯岸修三

理科学機器、試薬等の販売会社の倉庫番をしています。この会社は工業化学科の同級生が設立した会社ですが、彼は既に勇退しております。現役で働けることに感謝している毎日です。ただ、いつまで置いて貰えるかは分かりません。

大学関連では、白門化学クラブ・応用化学科同窓会・白門 43 会といろいろ顔を出しています。お蔭様で仲間がいっぱいいます。元気な内は手伝いをしていくつもりです。

趣味でやっているウクレレでは地域の仲間とボランティア活動と初心者へのコーチをしています。また、孫のために手作りウクレレを着手したところです。二人の孫に2台同時進行です。まだ弾ける歳ではありませんが、3歳位になったら一緒に弾けるようにと準備中です。5歳の孫娘には既に製作済みで、たまに音出しをさせています。まだまだ興味が薄いようです。孫たちと演奏するにはまだ当分掛かりそうです。

(四街道市)



**S44年 我妻一美**

現在、脳の活性化のため、市民大学やいろいろの講演会に出席中で、その他、特記はありません。宜しくお願いいたします。(横浜市)

**S52年 龍奥茂樹**

私は、事業仕分けでも登場したUR都市機構の関連会社である、日本総合住生活(株)という会社に入り、早いもので、あと数年で定年を迎える。この会社は、大屋である都市機構が建てた団地の維持保全を行なうことを目的に作られた会社である。

何故、この会社に入ったかという、今とレベルの差こそあれ、当時もオイルショックの影響により就職難で、化学関連会社からの求人が少なかった。そのような就職難に加え、3Kは嫌だ、定年まで夜勤があるのは嫌だ、などという注文をつけていたので、自分で行き先を狭めていた。この会社のことは全く知らなかったが、たまたま、友人が公団の団地に住んでいたこと、化学職の求人をしている旨を知ったことから受験することとなり、運よく拾う神により採用された。

現在、子供も手が離れ、職場という行き場もあるが、これといった趣味もなく、この先どのように人生を謳歌すればよいのか、生きてゆけばよいのか、意味もなく悶々としている。

先輩方、迷える後輩によきアドバイスを！ (浦安市)

**S52年 佐藤 博**

私の就職活動はオイルショック後の採用手控えの時期でした。息子も同じく就職難の今年に就職活動を迎えました。親子共々、就職難に当たるとは運のない家族です。

私は日揮(株)に入社以来、一貫してプロセス・エンジニアとして石油精製・天然ガス処理プラントの基本設計に従事してきました。この15年間はアルジェリア、UAEの天然ガスプラントを手がけてきました。プラントのフロースキームを決める仕事は、装置性能・安全・運転性と「競争力のあるコスト」と相反する問題に解を求められる難しい内容です。一方で自分の考え方を具現できる面白い仕事でもあります。

プライベートでは年に2回程度の海外旅行を楽しんでいます。毎年のハワイ諸島に加え、北米・欧州を中心に家族で楽しむことができました。まだまだ行きたいところが多く、退職後が待ち遠しいです。

仕事やプライベートで異文化の中に身を置くと、日本・日本人の良さを再認識することが出来ます。(横須賀市)

**S56年 田澤和久**

現在、荏原実業(株)品質保証室で品質に関わる仕事をしています。荏原実業は水処理関連(上下水道設備等)を中心とした環境関連設備の仕事をしていて、その中で品質保証室は客先へ納入する機器の検査や各規格の社内標準化、ISOの統括管理を主な仕事としています。検査業務については公共の仕事に関わる物が多く、年末・年度末になると各機器のメーカーや製作工場に出張して日本中を飛び回っているのが現状です。

住まいは実家。千葉市花見川区で、住宅地ではありますが家の周りは田んぼと畑、かなり田舎な風景です。実家では父母の介護をしながらの生活ですが、叔父の畑の一部を借りて、家庭菜園ですが夏野菜を少しばかり作り楽しんでおります。(千葉市)

### S62年 住吉 宏明

昨今の政府の景気対策も前与党の膿みが有り過ぎて効果が出てないのが、現実でしょうか？ その煽りを含めて各企業同士のM&Aも活発化しています。そもそも既に日本には少子化含めて需要も仕事も何もかもが元気がありません、当社もスゴイ勢いで改革の波を進行中です。

そのスピードを追い越すことが、元気の源を更にアップさせることの一つだと感じています。その中で、以前から実践して来たことが、今に生きてるようにも思います。

それは職種・習慣・捕らわれず、ナチュラルに目標を持つことだとしたら…

1. 会社内で目的を創ること
2. 会社外で目的を創ること
3. 趣味を創ること 今回は3. 趣味を創ることについて記してみます。

それは

たくさんのお逢い【一期一会】に興味を創れるようになり初めて得たことを大切に活動してきたことでしょうか。

又それは日本舞踊でありプロレスリングであり町内会等です、

そこに共通していることは会のビジョンと役割分担と実行責任の明確化です。

それはやらされているのではなく、率先してやりとげる皆さんの力が働いた時、その会が飛躍的にパワーを生み次回には更なる成長の良いスパイラルに繋がっていくのではないのでしょうか？

今後もそのような活動が出来れば良いと思っています。(江東区)

### 編集後記

支部の皆さんの毎日の生活と更なる探究心に加え、培った知識と知恵で有意義な活動をされていることに触発されました。これからもいろいろなどころでお手伝いをさせていただこうと考えています。(峯岸修三)

次号では、第31回総会の報告をいたします。また、今号同様、総会出欠通知葉書での皆様の近況等が満載出来ればと期待しています。(住吉宏明)

中央大学学会白門化学クラブ支部  
中央大学理工学部応用化学科内 白門化学クラブ事務局  
〒112-8551 東京都文京区春日 1-13-27  
E-mail 開設準備中  
URL 開設準備中